学校番号	317

平成 31 年度　芸術科（美術）

教科	美術	科目	美術Ⅰ	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	高校生の美術１　（日本文教出版）						
副教材等	ワークシート						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■表現及び鑑賞の活動において美術を形づくっている要素を知覚し、その働きを感じ取って表現することや、意図や根拠をもって美術のよさを視覚で表すことめざす。
■大作に挑戦し、創造的な作品制作を行う。粘り強く考えてアイデアを提出しプレゼンを行う。
・授業の進め方は表現活動と鑑賞活動を平行して行う。発表会は随時行う。
・授業には積極的に参加し、アイデア段階から自発的に考え常に工夫し続ける姿勢を重視する。
・作品提出は期限をまもり、必ずすべてを提出する。必要により補習を行う。

2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や創造力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	創造的な制作に向けて	・オリエンテーション 教科書や授業作品等を鑑賞し多様な表現形式について学び「美術1」と「創造的な制作」の学習イメージを持つ。 ・制作(大作)準備 ポスターもしくはイラストを選択 パネルに水張りを行う。	◎ ◎	○	◎	◎	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習と制作に意欲を高めている b:鑑賞の中で自らの美術制作に生かせる工夫や題材を見いだせているか c:刷毛と水を的確に扱い、素早くかつ美しく水張りをできている。 d: 美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化についての理解を深めている。	学習活動の様子 製作の様子 作品
1学期	創造的な大作制作 前半	・制作(大作)アイデア アイデアは複数点提出し、プレゼンも行い、表現について深く構想が練られているものができるまで行う。 ・制作 アイデアを基に下書きし、表現のポイントを確認しながら丁寧な制作を行う。 ・途中鑑賞会 生徒同士で表現の不足や制作の改善点について話し合う。	◎ ◎ ◎	◎ ◎	◎	◎	a:大作制作に興味を持ち、その表現方法や題材の工夫に試行錯誤している。積極的に考えて、改善点を見いだせているか。 b:アイデアの意図や表現の特徴や美しさを感じ取り、創造的な構成を練っている。 c:画材の特性を生かし、意図に応じて表現方法を工夫して表現している。 d:作者の表現の工夫や表現意図を読み取り作品について理解している。	ワークシート アイデアスケッチ・プレゼン 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容
夏休み	高校展鑑賞レポート	・高校展鑑賞レポート 夏休みの宿題 各自美術館に足をはこび、高校生の優れた作品を鑑賞する。	◎	○		◎	a:各自が美術館におもむき、積極的に鑑賞しているか。 b:鑑賞の中で２学期以降の自らの美術制作に生かせる工夫を見いだせているか d:鑑賞での感動がしっかりと表現されたレポートが作成できたか。	鑑賞レポート

2学期	大作制作 後半	・制作ふり返りと改善 夏休みの高校展鑑賞をふまえ自身の表現についてふり返り、今後の表現について再構築する。 ・制作 より深みのある表現になるように常に探りながら制作する。 ・鑑賞会 制作意図や表現の工夫についてプレゼンを行い、また鑑賞者からの意見も求め相互理解できるように促す。 優秀な作品を選定し、校内に展示する。	◎ ◎ ◎	○ ○	◎	○ ◎	a:自己の創造的な表現することに関心を持ち、表現や鑑賞活動に主体的に取り組もうとしている。 b:想像力を働かせ、主題の表現を工夫し構成、色彩など常により良くなるように探りながら表現の構想を練っている。 c:意図に応じて用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追求した表現をしている。 d:作品のよさや美しさ作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート 作品
2学期・3学期	チョークアート ルームプレート作り	・準備 木材の切断とペンキによる塗装 ・デザインのアイデアスケッチ 「用と美」を考えながら独創的なデザインを各自で考える ・制作 オイルパステルやその他必要な素材等を用いて、制作を行う。 ・相互鑑賞	○ ◎ ◎ ◎	◎ ○	◎	◎	a:ルームプレートデザインの目的を考えながら、表現の独創性の取り入れ主体的に取り組もうとしている。 b:アピールする事物などデザインの目的、機能、美しさなどから主題を生成し表現の構想を練っている。 c:目的や意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、目的や計画を基に表現している。 d:作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、デザインの働きや作品になどについて理解を深めている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート 作品

※　表中の観点について　a： 美術への関心・意欲・態度　　b： 発想や構想の能力

c： 創造的な技能　　d： 鑑賞の能力

※　年間指導計画作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。